

## 令和 4 年度第 2 回中区政策会議 事前意見聴取資料 解説

## P2 体感治安とは・・・

まず、今回の議題である“体感治安”とはどういったものなのかを簡単に示しています。“体感治安”とは「人々が感覚的・主観的に感じている」治安の情勢であり、客観的・定量的な数値である犯罪認知件数や検挙率とは異なり、主に例を挙げているような「治安が良いと思いますか？」といったアンケートへの回答で測られることとなります。

こう聞くとあまり信ぴょう性のない数値のように思えますが、実際にはこの“体感治安”こそが人々が感じる治安のことなので、安心して暮らせるか、ここに住み（続け）たいと思うかなどに大きく影響する重要な値です。

## P3～5 堺市・中区の人口推移

全国的な傾向と同じく、堺市全体、中区のいずれについても人口は減少傾向となっています。

自然動態とは一定期間における出生・死亡に伴う人口の動き、つまり生まれた人の数から死亡した人の数を差し引いたもののことを指します。それに対して、社会動態とは一定期間における転入、転出等に伴う人口の動き、つまり引っ越しなどで入ってきた人から出て行った人を差し引いたもののことを指します。

皆さんもご存じだと思いますが、今後、人口はより減少していくことが予想されており、人口減少により、様々な問題が生じるため、堺市、中区としても人口の維持・増加に寄与する取組を進めていく必要があります。

## P6,7 人口減少対策において「治安」を重視する理由

近年行われた統計調査でそれぞれ次のような結果が出ています。

平成 30 年住生活総合調査において、「子育て世帯が居住環境で重要と考える項目」の第 1 位は全国では 47.7%、堺市では 43.5% でいずれも“治安”となっており、ほぼ半数の方が居住環境について“治安”を重視しています。

また、電通株式会社が行っているクオリティ・オブ・ソサエティ年次調査 2021 では「現在の居住地や仕事の都合とは別に、自由な希望として、今後住みたいと思う場所について重視する項目」においても“治安がよい”は 96.1% で重視する（“とても重視する”と“やや重視する”の合計）という結果が出ています。

ここでいう“治安”はまさしく P2 でいう“体感治安”（人々がどう感じているか）であり、これらのことから、多くの方に、堺市、中区に住んでもらうためには“体感治安”をよくする（治安が良いと思ってもらう）ことが重要だということがわかります。

## P8 堺市民の治安に関する意識 = 体感治安

続いて、令和 3 年度堺市市民意識調査における、堺市民の意識を見ます。

市民意識調査は、市民のみなさまの日常生活における意識や行動に関するお考えをお聞かせいただき、今後の市政運営に活かすことを目的に数年に一度実施し、無作為抽出で 18 歳以上の市民の方 10,000 人に対し調査を行うものです。

「堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思いますか」の質問に対しての区ごとの回答率を見ると、

中区は「そう思う」と答えた人の割合が7区の中で最も少ないことがわかります。つまり“体感治安”が他の区に比べよくないという結果が出ています。

続いてライフサイクル別の回答を見ると、高齢者世帯は7割近くが「そう思う」と答えているのに対し、若者、夫婦、育児期・教育期の子育て世帯は数値が低くなっています。

ここから、若者や夫婦、子育て世帯の“体感治安”を向上させる必要があることがわかります。

#### P9～11 中区、堺市、他区、類似市の犯罪発生状況等

今度は、“体感治安”ではなく、治安に関する客観的な数値である犯罪認知件数等を見ていきます。まず9ページでは堺市と中区を含む7区、また中区と人口、面積規模が近い近隣市として大東市のH16～R3まで（区については区政施行後のH19～）の犯罪認知件数を表にしています。

左から2番目の中区の犯罪認知件数の推移をみると、犯罪認知件数はほぼ毎年減少しており、10年間で約75%も減少しています。

また、H19以降の大東市の数値と中区の数値を比較した場合、中区の数値は全ての年で大東市を下回っています。

これらのことから、犯罪自体は減ってきていることと、実際の犯罪認知件数について中区が殊更多いわけではないことの2つが推測できます。

しかしながら、右上の赤枠内で述べているように大阪府は全国で1,2を争う犯罪の多い都道府県であり、少し古いデータですが中区の犯罪発生率も全国的に見ると決して良い数値とはいええないため、今後も犯罪の減少、治安の向上のための取組を進めていく必要があります。

続いて、10ページでは中区の直近3カ月間の案まちメールの案件の具体的内容と発生場所を示しています。

案まちメールとは、ひったくり、路上強盗、子供や女性に対する被害情報、特殊詐欺等情報、公開手配情報、重大事件発生情報、犯罪等注意報を、警察署からリアルタイムにお知らせする情報提供サービスです。

ここでは、参考にこういう案件が実際にあったのだなという感覚を持ってもらえれば結構です。

最後に11ページでは、堺市、中区を含む7区と大東市の案まちメールの件数を比較しています。ここでも、中区の数値を他区や大東市と比較した場合、発生数が特に多いわけではないこと、また、犯罪の種別では、いずれの区、市においても子ども被害・女性被害が大半を占めていることがわかります。

#### P12 P11までの整理

12ページでは11ページまでの内容を踏まえ、どんな区をめざし、どういう取組を行うことが必要かについて、2つの点から整理しています。

1つ目は、中区は、実際の犯罪は他の区や類似市と比べて特に多いわけではないのに、“体感治安”は良くないという現状です。ここから、治安が良くないというイメージが先行しているおそれがあるため、区民の皆さんが、自分たちは守られている、安全だと感じられるような区になるための取組が必要だということです。

2つ目には、街頭犯罪の種別で、子ども被害・女性被害が大半を占めていることと、高齢者世帯に対し、若い世帯（若者・夫婦・子育て世帯）の治安への不安が大きいということから、特に子育て世帯、女性や子どもが安心して暮らすことのできる区になるための取組が必要だということです。

**P13** 中区青色防犯パトロール活動拡充事業（案）

12 ページのめざす区のすがたを踏まえ、来年度中区役所で実施を検討している事業「中区青色防犯パトロール活動拡充事業（案）」についてご紹介します。

前提条件として、青色防犯パトロールは安全に運行しつつ見回りを行うため、2 名以上での乗車が必須とされていますが、1 人だけしかパトロール活動に参加できず、運行できない場合があるとお話を地域から伺っています。

そこで、その同乗者として大阪公立大学の学生有償ボランティアに青色防犯パトロール隊に参加していただくことで、活動を活発化させる形での検討を進めています。

本事業は大阪公立大学と地域、中区役所の 3 者連携により、現在、青色防犯パトロールの問題点となっている担い手不足を解決し、パトロール活動を活発化することで、体感治安を向上させること、また、地域住民と大学生による世代間交流の促進や大学生が地域活動に触れ、知る機会を創出することで、将来的な自治会加入率向上への貢献をめざしています。

**P14,15** 青色防犯パトロールについて

青色防犯パトロールがどういうものかを前提として理解していただくため、14 ページでは青色防犯パトロールの概要について説明し、15 ページでは中区の自主防犯パトロール登録団体の一覧と令和 3 年度の活動実績を掲載しています。

**P16** 中区が現在行っている治安向上に資する取組

16 ページでは中区役所が現在行っている治安向上に資する 5 つの取組について簡単に紹介しています。

**P17** 今回ご提案・ご意見をいただきたいこと

以上を踏まえ、今回の令和 4 年度第 2 回堺市中区政策会議では、体感治安の向上について大きく 2 つの観点から、皆さんにご意見をいただきたく思います。

1 つ目は、「体感治安を向上させる取組全般について」です。右側に具体例なども挙げさせていただいておりますので、これらも参考に、こんなことをしたら区民の体感治安が良くなるのではないかと、また、警察と連携してこんな取組をしてはどうかなど、広くご提案を求めます。

2 つ目は 13 ページでご案内させていただいた「中区青色防犯パトロール活動拡充事業（案）」についてです。青色防犯パトロールを知っていたか、どういうイメージを持っていたかという既存の青色防犯パトロールに対する感想や、この事業をより効果的・効率的に行うために有効な手法などについてご提案をいただきたく思います。